

今号の読みどころ

P 4

議員団レポート…議員団レポート（日立市、ひたちなか市、かすみがうら市、茂原市）
議員団レポート…議員団レポート（下松市）、幹事長の主張
大島衆議院議員・国政レポート…経産大臣就任 日本国民のため全力で頑張ります

P 2~3

大島衆議院議員国政レポート

経済産業大臣に就任

チャレンジ集団経産省 の旗を掲げ 日本国民のために 全力で頑張ります

衆議院議員 経済産業大臣

大島 章宏

9月17日菅総理から大臣就任の要請 そして拝命

9月17日午前10時10分、菅総理から国会事務所に電話が入り、経済産業大臣就任要請があり、正式に経済産業大臣を拝命いたしました。憲政記念館での両院議員総会の後、午後2時半ごろ官邸に閣僚呼び込みがあり、菅総理から経済産業大臣に対する辞令と指示書交付が執り行われました。

同日夕刻より皇居・宮殿にて閣僚認証式、その後初閣議と記念撮影後、官邸記者会見室で経済産業大臣として初めての記者会見、さらにその後、経済産業大臣室にて事務次官、官

房長など幹部と打合せを行い、経産省記者クラブでの就任会見に挑みました。そのような事から終了したのは午前1時過ぎとなり、議員宿舎に戻ったのは午前2時近くとなってしまいました。翌日は、午後2時から夕刻まで経産省にて打合せ会議、翌19日は午前9時から10時までNHKの「日曜討論」に出演、20日は午後1時から首相公邸にて5時間にわたり閣僚勉強会に出席しました。

円高に負けない日本のものづくり環境を つくりたい

初当選以来、多くの働く仲間の皆さんや各方面で頑張っておられる市民の皆さんのご支援に支えられ今日があります。お支え頂いた皆様に心より感謝申し上げます。私は縁の下の力持ちで支えることが得意の方ですが、これからはこれまでご支援頂いたお一人お一人の思いを受けとめ、持てる力を発揮して、皆が安心して暮らせる社会を実現するために全力で取り組んでまいります。

今、ものづくり産業は円高や先行き不透明な経済状況の中で岐路に立っており対応が大変ですが、皆で知恵を出して、若者も仕事に専念できる環境を作りたいと考えます。円高に負けない日本のものづくりの環境をつくり、内需拡大に努め、経済産業省の8,600人のメンバーには、「チャレンジ集団経産省」の旗を掲げてその先頭に立ち、全力で日本国民のために頑張ります。今後とも皆さんのご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

働くものの代表として大臣という立場からよりよい社会実現のため取組みます
(前より3段目左から2人目が大島章宏
経済産業大臣)



市政だより



日立シビックセンター科学館をリニューアル

優秀な科学者が育つ環境をめざす

石野 正美 日立市議会（日立支部）

リニューアルされた科学館で遊ぶ子供たち



自分が巨大に見える不思議な部屋「エイムズの部屋」

日立シビックセンター開館20年の節目となる今年度、科学館魅力づくりのリニューアルが完了します。「遊んで学べる科学館」をコンセプトに、これまで8階フロアのリニューアルが行われ、お絵かきロボットの入れ替え、確率などを楽しく学べる「数学のギャラリー」や「回転コーナー」のアイテム入れ替え、錯視・錯覚の不思議を体感できる展示物の更新など、先端技術や科学の原理原則を体験しながら学べる展示物が新たに導入しました。

また、幼児コーナーを新設し、親子連れがより快適に楽しめるように工夫されるとともに、床面・壁面の改修も行い科学館全体が明るく楽しい雰囲気に様変わりしました。今年度は、9階部分のサイエンススタジオなどの改修を行いリニューアルの総仕上げとなります。また、同時期に天球劇場（プラネタリウム）も最新鋭機器にリニューアルするため、交流人口の拡大も図られます。オープンは、来年3月下旬を予定しています。

今後、日立製作所OBの方が中心となって設立した「日立理科クラブ」との連携を構築し、日立市から優秀な科学者が育つような環境づくりに努めます。

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員のそれぞれの取組みを紹介します



市政だより



市民運動公園野球場のリニューアル

スポーツ振興によるまちの活性化をめざして

齋藤 英彰 日立市議会（大みか支部）

コストを抑制し、多目的利用が可能になった市民運動公園野球場



スポーツは、心身の健康を保持増進し、生涯にわたって明るく豊かな生活を送るためには必要不可欠なものであります。

日立市では、身近な地域でスポーツを気軽に楽しみ、日常生活の中にスポーツを取入れることの出来るまちづくりを進めております。

市民運動公園野球場は、昭和47年の供用開始以来、約38

年にわたり市民の皆様にご利用されている野球専用グラウンドです。本施設は、内野部が黒土、外野部が天然芝のグラウンド環境にも関わらず、長期間抜本的改修を行わずに維持管理をしてきたため、内・外野とも凹凸部が目立ち、イレギュラーが頻繁に発生する状況であったことからグラウンドの改修が必要でありました。

今回、メンテナンスの簡易化やランニングコストの抑制に加え、多目的利用が図られ、降雨後の使用も可能となり、美観の向上にもつながる「全面人工芝化」を実施しました。

人工芝の品質は、プロの野球場で使用されているものと同質のロングパイル人工芝を採用し、色も緑と赤の2色に配色することにより、ボールの見易さやデザイン等に配慮しました。また、内野部フェンス緩衝材の交換やベンチ内の選手通路等の改修も行い、安全対策にも万全を期しました。

以上のことから、今後は幅広い年齢層の方々に利用して頂くことで、スポーツの振興、ならびにまちの活性化、そして、各種公式大会の誘致による、日立市の知名度アップに寄与できるものと期待しております。



西原長砂線の整備で渋滞緩和を図る

安全な通学路など市民福祉向上に向け活動

高崎 修一 ひたちなか市議会（日立支部）

今年もひたちなか地区に熱い夏がやってきました。市の大きなイベントの中で恒例になりましたロックインフェスティバルは、3日間で16万を超える人で賑わいました。このように多くの来場者がある中で、市の道路の渋滞は想像を絶するものです。

そこで渋滞緩和策として西原長砂線（那珂市から国道245号線を結ぶ3,500m）の都市計画が平成元年に決定されました。完成は、当初平成27年を目標に進めてきましたが、この地区は前述の大イベントや大規模開発の進展などから前倒しでの整備を余儀なくされました。

結果、今年の7月に全線開通したことで、ひたちなか地区へのアクセスルートが改善され、近隣の小中学校への通学時間が短縮（20～30分）されたことや安全な通学路が確保されたことは大きな成果です。

日新クラブ議員団は、この事業の中で、小中学生の通学路の安全性や道路のあり方等について一般質問等で建設的に論議をしてきました。今後も、多くの残されている渋滞道路の緩和策や課題等について、市民福祉向上に向け活動していきます。



開通前の様子



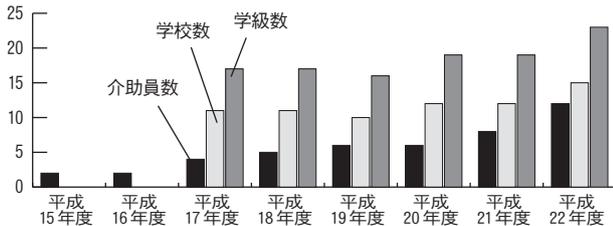
開通した西原長砂線



小・中学校 就学支援介助員の設置について

子どもたちが同世代の仲間と成長できる環境づくり

和田 正美 かすみがうら市議会（日立建機土浦）



小学校や中学校の就学児童を持つ親として、一般の親御さん、何らかの障がいを持つ児童の親御さんの皆さんは同様に「わが子の成長過程の生活環境や教育期間終了後の生活環境を一般の人と同じ環境で過ごさせてあげたいという気持ちから、まずは、基礎成長期間である小中学就学を一般普通学校で受けさせてあげたい」という要望が強くあります。

かすみがうら市においては、旧千代田町の時に制定した教育

委員会訓令「学校介助員設置要項」に従い、学校生活上自立や集団生活が困難と認められる児童生徒が在籍する小学校や中学校において学校の円滑な運営を図るため、当該児童生徒を介助する者（学校介助員）を配置し、当該児童生徒を指導する教員の指示の下、児童生徒の生活支援（食事、排泄、着替えなど）、安全確保（教室移動、多動障害による飛び出しの抑止など）に関する業務を実施しています。（障がいの条件・制限の明記はしていません。）

特別な支援を必要とする児童生徒数は、年々増加傾向にあり、また、特別支援学級の設置も、年々増加しており、介助員の需要も高まってきているのも現状です。

望まれる、わが子が同世代の仲間と一緒に成長できるよう、そして地域の人々との交流ができるような環境づくりが私たちの務めであり、その実現が私たち政治家の仕事であると考えます。



学校給食共同調理業務の民間委託がスタート

安全で経済的な給食を提供

関 好治 茂原市議会（日立DP）

茂原市の学校給食の共同調理事業は、昭和56年に市の公共企業体として「財団法人茂原市学校給食公社」を設立し、その下で30年弱に渡って事業が進められてきました。

しかしながら、昨今、多くの自治体において民間企業の参入が進んでいることや市の財政状況が極めて厳しい事情を鑑み、昨年、民間参入が可能となるよう規則改正を行ないました。創意工夫により、学校給食の質を維持しながら、安全・安心な給食を児童生徒に引き続き提供するとともに、委託事業費の大幅削減を目的とした当事業には、複数の民間業者から、最新の知識と豊富な経験に基づく企画提案がなされ、プロポーザル方式により委託先を選定しました。

その結果、本年4月1日より民間企業による事業がスタートしましたが、その過程においては、公社職員組合より千葉県労働委員会へ不当労働行為救済申し立てがされ、その後の労働委員会からの和解協議及び和解案の提案①公社職員の再就職につい

学校給食民間委託による効果 単位：K¥

	H22年度	H21年度	増減
公社委託費	0	722,392	皆減
民間委託費	166,162	0	皆増
賄い材料費	446,793	0	皆増
合計	612,955	722,392	

年間109,437K¥の削減効果あり



民間委託が実施された共同調理場

て②退職金の予算化)に慎重な対応を図り、事態の収束に努めました。現在事業は問題なく順調に進められていますが、今後は設備の老朽化も進んでおり、PFI(※)方式による事業検討の調査研究を行っていきます。

※PFI：Private Finance Initiative公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行なう手法。

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員のそれぞれの取組みを紹介します



市民交流拠点
施設模型



市民交流拠点施設計画

市民と行政の協働作業

磯部 孝義 下松市議会（笠戸支部）

市政だより



下松市では心豊かな人づくりとまちの活性化の源泉となるように、市民の交流を促進し、地域や年代を越えた人々を結びつける拠点として、下松中央公民館と市立図書館のある敷地に『下松市市民交流拠点施設』整備事業を進めています。この施設の整備については、図書館機能・市民交流機能・歴史民俗資料展示機能を中心とする複合施設整備として位置づけています。

事業計画の策定にあたっては、「施設利用者へのアンケート調査」「市民ワークショップ(アイデア、意見、提案を出し合い水平的な関係で話し合い、独創的に課題を解決していく場)」「パブリックコメント(意見収集)」「周辺住民意見交換会」が実施され、市民と行政の協働作業で基本計画が完了しました。今後実施設計、建物の解体・着工と進んでいきます。

市民参画(共に考え、共に創る)の施設として利用しやすい・親しまれる施設となるよう引き続き意見反映していきたいと考えています。

組織力・総合力を高めることを基軸に活動します

建設的な論議で政治への信頼回復を

大島大臣に国民に応える役割を期待

先に行われた民主党代表選で菅直人代表（首相）が再選され、菅改造内閣が発足、経済産業大臣に日立労組出身で私ども日立グループ議員団の大島章宏衆議院議員が就任、初入閣を果たしました。

大島議員は当選7回、今回の入閣は議員団としても大変名誉なことであり、これも長年にわたりご支援を頂いてきた組合員ならびにご家族の皆さまのご理解とご協力の賜物と改めて厚く御礼を申し上げます。

円高問題をはじめ緊急を要する景気・雇用対策に加え、尖閣諸島問題で急激に悪化・深刻化しつつある日中間

係などまさに内憂外患の情勢の中で、衆参ねじれ国会など新政権には極めて厳しい舵取りとなることが予想されますが、与野党の建設的な論議で国民の政治に対する信頼を取り戻して欲しいと思います。そのためにも政権与党である民主党は代表選で生じた様々な確執を乗り越え、挙党一致体制で諸課題に取り組む、昨年の総選挙での国民の期待に応えていくことが肝要です。

大島大臣には経産相としての重大な責務とともにこうした役割をも担って頂くことを期待している次第です。

組合員に信頼される議員団めざす

さて、私ども議員団は本年7月に第19回総会を開催し、働く者の立場に



日立グループ議員団幹事長
秦野市議会（神奈川支部）
山口 金光

立った政策制度課題の解決・改善に向け、議員団の組織力・総合力を高めていくことを基軸にした新年度の活動方針を確認しました。組合員に最も身近な存在として信頼され期待される議員活動をめざして全力を尽くす所存ですので今後も変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

当選御礼

ご支援ありがとうございました



胎内市議会（9月12日）
渡辺 宏行
（日立産機システム中条）

選挙予定

ご支援よろしく申し上げます

茨城県議会選挙
（12月12日）



長谷川 修平
（日立支部）



佐々木 忠男
（水戸支部）



齋藤 英彰
（大みか支部）

大山崎町 町長選挙
（10月17日）



江下 伝明
（日立マクセル京都）